

# 【議事録】

実施日時 令和3年11月25日(木) 19:00~20:30

会議名	令和3年度第4回八潮市地域福祉計画推進委員会	実施場所	八潮メセナ3階 会議室1・2
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 進捗会議 <input type="checkbox"/> 説明会 <input type="checkbox"/> 研究会 <input type="checkbox"/> レビュー <input type="checkbox"/> Q&A <input type="checkbox"/> 打ち合わせ <input type="checkbox"/> その他		
件名 議題	<input type="checkbox"/> 開 会 <input type="checkbox"/> 議 事 (1) 第3期地域福祉計画素案について (2) パブリックコメントの実施について <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 閉 会		資料
			有■ 無□
出欠席	<input type="checkbox"/> 出席委員  宇田川 光輝 委員 籠倉 正美 委員 川上 泉 委員 安孫子 由美子 委員 山本 千秋 委員 渋谷 隆 委員 長友 祐三 委員 佃 志津子 委員 白井 陽子 委員 市川 俊之 委員 狩野 重子 委員  <input type="checkbox"/> 欠席委員 篠木 猛 委員 飯田 ミエ子 委員 杉山 誠一 委員 藤波 光子 委員  <input type="checkbox"/> 事務局 香山 健康福祉部部長 遠藤 健康福祉部副部長 鈴木 社会福祉課長 原崎 社会福祉課副課長 伊原 社会福祉課福祉企画係主事 江口 社会福祉課福祉企画係主事 宮本 八潮市社会福祉協議会総務課事業副課長 星野 八潮市社会福祉協議会総務課事業係長 Next-i(株) 吉元氏  <input type="checkbox"/> 傍聴者 1名		記入者
			社会福祉課 伊原

## 内容

## 議事概要

## (1)第3期地域福祉計画素案について

## 質疑応答

(委員)

地域福祉の理念について、地域福祉とは何かのイメージが、計画を見ても違うかなりイメージである。12ページの地域共生社会のイメージ図について、どの人物がどの立場なのかわかりづらく、違和感がある。

(事務局)

12ページのイメージ図について、すべて包括しているイメージだと思っている。例えば、89ページにあるが、各主体の役割として、それぞれの役割は地域福祉につながっていくことになる。いただいた意見を基にイメージ図について検討してまいりたい。

(委員)

74ページの地域に期待することの3番目では、病院や買い物等の送迎ボランティアを行いましょうと、ここだけ具体的になっている。他のところでは、意識を高めましょう、関わりを持ちましょう、となっているが、ここだけどうして具体的なかわからない。色々なボランティアがある中で、どうして送迎なのか。

(事務局)

困難事例把握調査を参考にできるだけそのままの文言で作成しているが、改めて事務局で検討してまいりたい。

(委員)

75ページの成年後見制度について。以前成年後見制度の講習を実施しても、市民の参加が少ないと聞いたが、現状はどうか。そうした研修等は現在も実施しているのか。後見人になる人は一般の人が多いのか。

(事務局)

研修等は変わらず実施しているが、市民の参加は少ないままである。後見人を選任するのは裁判所になるので、裁判所がどう判断するかによるが、現在八潮市には市民後見人はいない。全国的に見ても市民後見人が選任されるのは少ない状況である。

(委員)

77ページの②再犯防止対策の推進について。項目だけ読んだ印象として、再犯防止の施策内容がわかりづらい。各項目の評価がしにくくかつ新規事業としてはかなり難易度が高いものも含まれている。各項目の内容の加筆や施策内容の再検討をお願いしたい。

(事務局)

法務省が掲げている重点事項を精査し、表現方法や施策内容について再検討させていただきたい。

(委員)

基本目標3について。ハザードマップに関する事項を掲載してほしい。79ページの要支援者対策についても、ハザードマップは関連するため、掲載した方がいい。

(事務局)

ハザードマップについてどのように掲載するか事務局で検討してまいりたい。

(委員)

80ページの感染症対策の推進について。避難誘導體制の整備というものがあるが、どのような状況を想定し、どのような内容なのか。また、その下に、介護サービス事業者等の情報提供、感染症対策の支援というものがあるが、高齢者に関する事業で長寿介護課だけが記載されているが、高齢者のみで良いものなのか。表現方法について検討していただきたい。

(事務局)

避難誘導體制の整備については、市内の施設等における感染症対策を講じていくこと、それに対する情報提供を行うなど、体制整備を図ることとして障がい者計画に掲載している。介護サービス事業者等への情報提供については、介護サービス事業者だけではないはずだが、計画上、高齢者福祉計画に掲載しているものなので、便宜上このような掲載方法となっている。実際には、感染症や災害時の対策について、国や県からの情報が提示されるので、感染症対策の手引きやマニュアル等もあり、それらの情報を共有させていただいている。また、感染症対策における訓練の指導などもあり、それらについて連絡を密にしている。いただいた意見を基に表現方法について事務局で検討してまいりたい。

(委員)

85ページの自殺防止の推進について、地域における多様な主体との連携とは何か。分かりやすい表現方法について検討していただきたい。

(事務局)

自殺対策については、自殺対策計画があり、各取組について、地域における多様な主体との連携ということで、具体的な施策内容では掲載していない。町会自治会や民生委員児童委員と行政の連携を強化し、自殺対策に関する情報の共有に努めることとなっている。表現方法については事務局で検討してまいりたい。

## (2)パブリックコメントの実施について

意見等なし

●要対応事項・要検討事項・課題など

別紙 ( 有 無 )

内容	対応者	期限	備考
		—	—

●その他の補足事項

別紙 ( 有 無 )

--

●要対応事項・要検討事項・課題などの調整結果 ( 月 日調整済み)

別紙 ( 有 無 )

要対応事項	調整結果